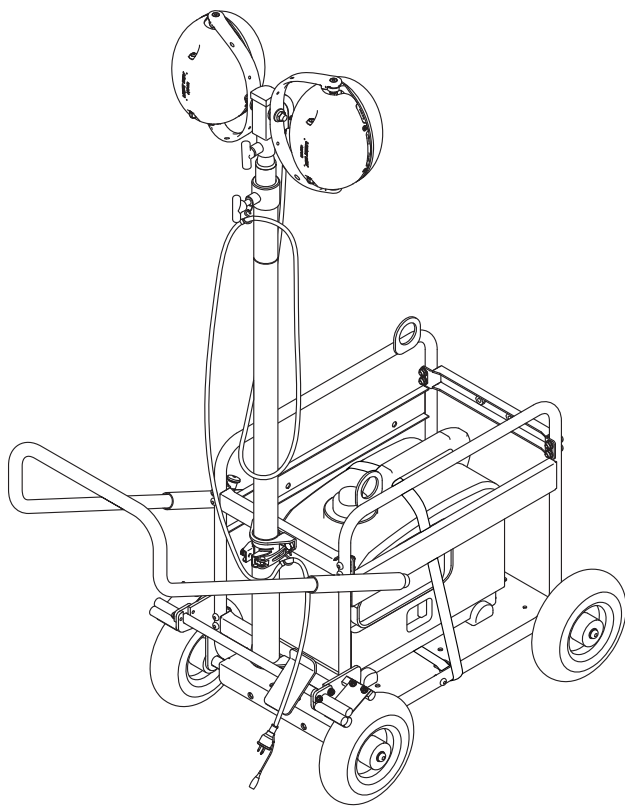


OPERATION MANUAL

取扱説明書

LIGHT BOY

MODEL LB202CC/LB202X2CC



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために、必ず本取扱説明書をお読みください。
誤った使い方をすると、事故を引き起こすおそれがあります。
お読みになった後も必ず製品に近接して保管してください。

ご不明な点についてはライトボーイ販売会社・特販店にお問い合わせください。

MEMO

このたびは
移動式投光機ライトボーイ LB202CC/LB202X2CC を
お買い上げいただきまして
ありがとうございます

はじめに

- この取扱説明書は、LB202CC/LB202X2CC の取扱方法と使用上の**注意事項**について記載しています。
ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟読のうえ、正しくお取扱いいただき、**最良の状態**でご使用ください。
- この取扱説明書をお読みになった後は、いつでも使用できるようにお手元に大切に保管してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店にご請求ください。
また、ご不明な点やお気づきの点がございましたら、お気軽にライトボーイの**販売会社・特販店**にご相談ください。
- 品質・性能向上あるいは安全上の事情で使用部品の変更をおこなうことがあります。
- 本製品を廃棄する場合は適切に処分してください。
【事業所から排出する場合】
事業所の所在する地方自治体(都道府県もしくは一部の政令指定都市、中核市)の排出ルールに従って、適切に処分してください。
【家庭から排出する場合】
お住まいの市区町村の排出ルールに従って、適切に処分してください。

本取扱説明書は LB202CC を基本に説明しています。

取扱説明書 名称	LB202CC/LB202X2CC	コード NO.	B-0000367-06
----------	-------------------	---------	--------------

安全に使用していただくために

本製品は、本書に記載した使用方法に従ってお使いいただく限り、お客様に十分満足いただけるものと信じております。

しかし万一、以下に示した注意を守らない場合は、やけど・けが・火災などの重大な損害が発生するおそれがあります。

くれぐれも、以下の諸注意をていねいに読み、十分理解されてからご使用ください。

- 本文中、および本製品に貼付けした**警告表示**で使用している**安全標識**とその意味は、つぎのとおりです。



その警告文に従わなかった場合、死亡または重症を負うに至る切迫した危険性を示します。



その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性がある危険性を示します。



その警告文に従わなかった場合、軽傷または中程度の障害を負う可能性がある状況を示します。また物的損害の発生のみが予測される場合も示します。

目 次

■ 安全上のご注意	4
■ 警告表示（ラベル）の貼付位置	12
■ 各部の名称	15
■ 組立て方法	16
■ 基本操作方法	17
ハンドル操作	17
駐車ブレーキ操作	18
ランプ操作	18
マスト操作	19
■ 点灯・調光・消灯操作方法	20
点灯	20
調光	21
消灯	21
■ 収納方法	22
■ 点検・整備・保管	24
灯部点検・整備	25
台車部点検・整備	26
■ 配線図	27
■ トラブルシューティング	28
■ 主要諸元表	34
■ わからないことや、故障したら	36

安全上のご注意

設置

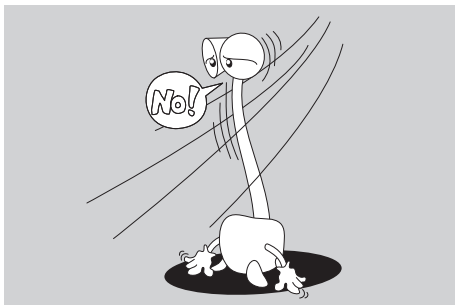
強風時はマストの高さを下げてください



危険

強風時にマストを伸ばしたまま使用すると、投光機が転倒し大事故になるおそれがあります。

- 強風で灯具が大きく揺れるときは、マストを下げてください。マストを下げて揺れるときは使用を中止してください。



◆強風とは風速 7m/s 以上。(傘がさしづらい、風に向かって歩きづらいなどの状態)

傾斜地で使用しないでください

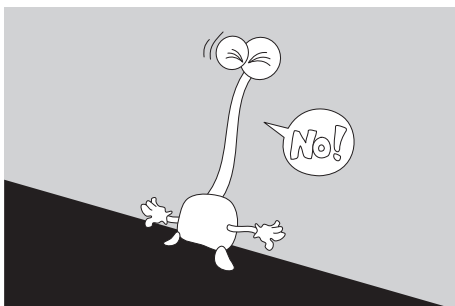


危険

転倒防止のため傾斜地や地盤の軟弱な場所は避けて、しっかりした水平な場所に設置してください。

- 移動防止のため必ず駐車ブレーキをかけてください。また、車輪止めも必ずおこなってください。

◆傾斜地とは約 5° 以上をさします。



転倒防止対策をおこなってください



危険

設置状況によって転倒の危険が異なります。より安全性を増すために、ロープと枕木による固定をおこなってください。

- 発電機が搭載されていない場合は 10 kg 以上の重しを載せて使用してください。

◆半径 4m 以内の安全を確認して使用してください。

駐車ブレーキを使用してください



危険

停車時はいかなる場合も必ず駐車ブレーキをかけ、投光機が動かない状態にしてください。駐車ブレーキをかけていないと思われ事故やけがをすることがあります。



危険

タイヤの空気圧が低いとブレーキがしっかりかからなかったり、バランスがくずれて転倒や事故のおそれがあります。

- 停車時には必ず駐車ブレーキがかかっていることを確認してください。
- 使用前に空気圧を確認、調整してください。

火気の近くに設置しないでください



危険

火気の近くに設置したり、火気を近づけると火災のおそれがあります。

- 投光機の周囲に火気や引火しやすいものがないか確認して設置してください。

ノブはしっかりと締めてください



危険

ノブが緩んでいると照明部やマスト部が落下し、けがや破損のおそれがあります。

- 組立時や高さの調整中に手を挟まれないように注意してください。

運搬

運搬前に投光機を確認してください



危険

ノブの締付けを必ずおこなってください。ゆるんだ状態で運搬すると機器が破損したり、照明部が落下し大けがをするおそれがあります。

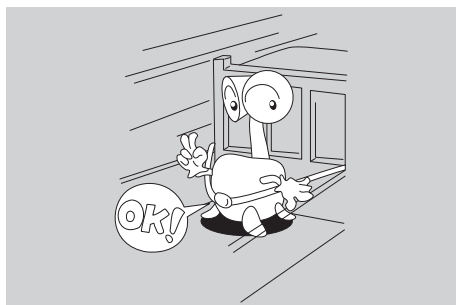
確実に固定してください



危険

車で運搬するときは駐車ブレーキをかけるとともにロープ等で固定してください。機器が破損したり、落下、転倒し大事故につながるおそれがあります。

- 運搬時にマストが伸びないように注意してください。



高さに注意してください



危険

マストを伸ばしたまま移動するとバランスを崩し転倒するおそれがあります。



危険

マストを伸ばしたまま運搬するとガードなどの障害物に衝突し大事故を引きおこしたり、機器が破損するおそれがあります。

- 車で運搬するときは投光機のマストを完全に下げ、収納状態で運んでください。

◆ 収納時高さ：1635mm

坂道での移動に注意してください



危険

急な坂道での移動は、投光機が暴走したり、人が挟まれるおそれがあります。

- ブレーキの開放時、投光機が自重で移動する坂道等では、投光機の動きに注意して力の加減をおこなってください。また、投光機が暴走するような急な坂道での移動は、人の力で移動せず、車で設置場所まで運搬してください。

トラックなどへの積降時は注意してください



危険

傾斜地などバランスのとりにくい場所での積降作業は投光機が落下し破損したりけがををするおそれがあります。



危険

ブレーキ解除時は自重で投光機が移動して落下し、破損したりけがををするおそれがあります。駐車ブレーキをかけ、必ず車輪止めも使用し、投光機の動きに注意して作業してください。

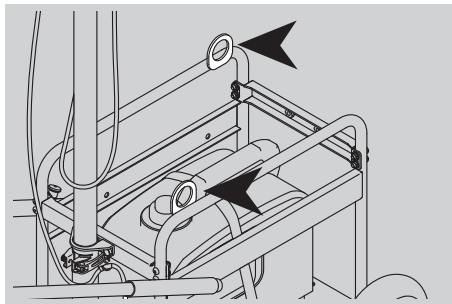
- 積降作業は平坦な場所でおこなってください。

指定の吊下げ箇所を使用してください



危険

機器が破損、または落下したりけがををするおそれがあります。吊下げ時は収納状態で行い、指定の箇所以外で吊下げないでください。



- 吊下げ時はマストを完全に下げてください。
- 吊下げ時はベルトを使用し、投光機本体が水平に近くなるよう、バランスの取れる位置で吊下げてください。

◆クレーン以外での吊下げはしないでください。

強い衝撃に注意してください



注意

強い衝撃が加わるとランプの寿命が著しく低下したり、破損するおそれがあります。

- 移動、運搬時や積み下ろしなど十分注意してください。

周囲の安全を確認してください



注意

投光機は重さがありますので、移動時に接触するとけがや破損のおそれがあります。

- 移動時は周囲に人やものがないことを確認してください。
- 移動時に自分の足を轆かないよう足元に注意してください。

■ マスト操作

マスト昇降時は注意してください



マスト上昇時は、電線に注意してください。接触すると感電するおそれがあります。



マスト昇降時は、マストに指等を挟まれないように注意しておこなってください。



マスト上昇時は、頭上に何も無いことを確認してください。接触すると機器や接触物が破損するおそれがあります。

◆マスト昇降操作は周囲の安全を確認してゆっくりとおこなってください。

■ 発電機

スイッチを入れたまま発電機の始動・停止をおこなわないでください



スイッチを入れたままエンジンを始動・停止すると発電機が破損する場合があります。

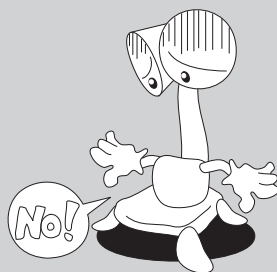
- 始動直後および停止時の発電機は状態が不安定となりますので、発電機が安定してから発電機の交流スイッチを入れてください。また、必ず発電機の交流スイッチを切ってからエンジンを停止してください。

出力に余裕のある発電機を使用してください



発電機のマッチングの問題により、点灯しない場合があります。

- 負荷に対して余裕がないと発電機の寿命が短くなるとともに、ランプの消灯または点滅の原因になります。



発電機の取扱注意事項を守ってください

- 詳細は発電機取扱説明書を参照してください。
- 発電機を使用する際はしっかり固定してください

点灯時

感電、漏電に注意してください



投光機や操作者がぬれた状態、またはぬれた手で操作すると、漏電等の故障になるばかりではなく、操作の際に感電するおそれがあります。

- 投光機は防水型ではありません。雨や雪の中、水しぶきのかかるような場所で使用したり、水たまり等に浸水させて操作しないでください。
- 水没した場合は使用を中止してください。

電源プラグや端子部に注意してください



作動中は電源プラグや端子部に触れないでください。感電のおそれがあります。



AC 線に異常な発熱がみられた場合、ただちに使用を中止してください。

- プラグによごれや異物がないか確認したうえでコンセントにしっかりとさしてください。
- 使用しないときはプラグを抜いてください。

点灯中は灯具に触れないでください



点灯中および消灯直後のランプは高温ですので、やけどをするおそれがあります。十分に冷めてから作業してください。

点灯中は灯具を直視しないでください



LED 発光部を長時間直視すると、目を傷めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。

強い衝撃に注意してください



警告

強い衝撃が加わるとランプ寿命が著しく低下したり、破損するおそれがあります。

周囲温度に注意してください



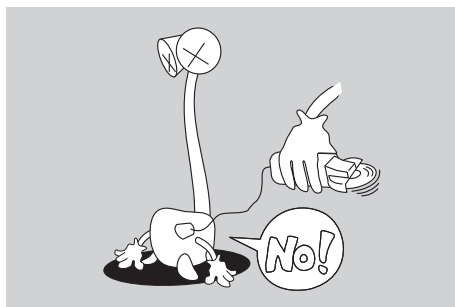
注意

周囲温度が 40℃以上の環境で使用すると自動で調光、又は消灯します。

- 周囲温度 -10 ~ 40℃の場所で使用してください。

他機器との併用時は発電機の容量を確認してください

- 発電容量を超えた場合、ランプの消灯などの原因になります。



点検・整備・保管

点検・整備をおこなってください



危険

タイヤ空気圧が減少するとブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。



注意

マストのメンテナンスにはグリスをご使用ください。浸透潤滑剤、パーツクリーナーはマストの動きが悪くなるおそれがあります。

- 使用前、使用後や長期保管前には泥や汚れを落とし、注油・グリスアップなど必ず点検・整備をおこなってください。
- 金属同士が擦れ合う部分には、定期的に注油・グリスアップをおこなってください。
- 故障や異常を感じたら直ちに使用を止め、点検・整備をおこなってください。
- タイヤ空気圧を調整してください。[245 kPa (2.5kgf/cm²)]

高温多湿を避けて保管してください

- 保管前には必ず汚れなどを落とし、金属部分に注油・グリスアップをおこなってください。
- ブレーキをかけ、雨ざらしや湿度の高いところを避けて保管してください。
- 保管はできるだけ室内で行ってください。
- やむを得ず屋外で保管する場合は、防水シートで覆い雨や雪にさらされないようにしてください。

基本注意事項

安全にご使用いただくため基本を守ってください

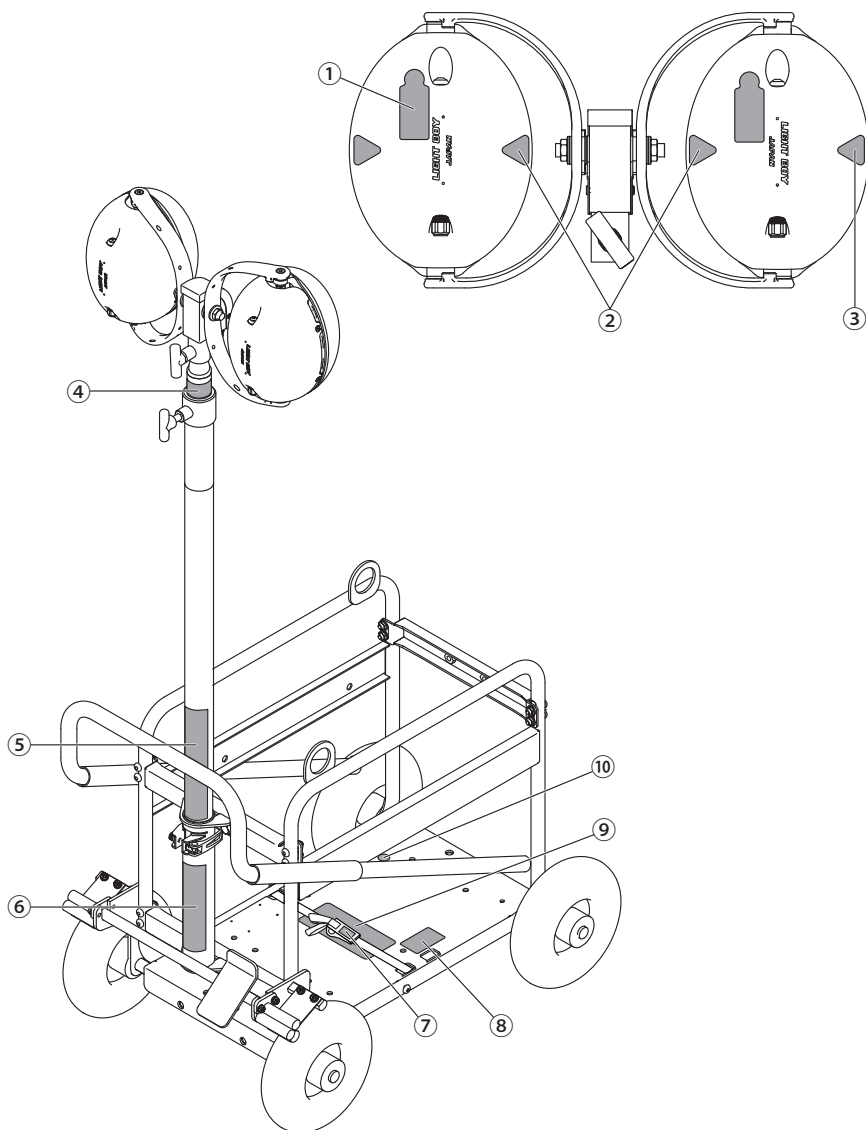
- 飲酒時に取扱わないでください。
- 過労や睡眠不足などで体調が悪いときは取扱わないでください。
- だぶだぶの服、装飾品など機械部品に引っかかる可能性のあるもの、また油などの付着した作業着は引火しやすいので着用したまま取扱わないでください。
- けが防止のため服装は常にきちんとし、靴はすべり止めのついたものを着用してください。
- 分解、改造しないでください。
- 操作時にはまわりをよく見て安全を確認してください。

警告表示 (ラベル) の貼付位置

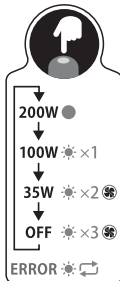


安全に作業していただくために、警告表示 (ラベル) の貼付位置を示したものです。ラベルは常に、汚れや破損のないように保ち、万一破損・紛失した場合は新しいものに貼直してください。

ラベルはお近くの販売会社、特販店にお申しつけください。



①A-4004942-01 各スポット 1枚



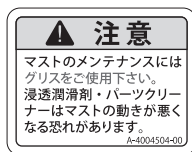
②A-4004921-00 各スポット 1枚



③A-4004922-00 各スポット 1枚



④A-4004504-00 各マスト 1枚



⑤A-4003155-00 各マスト 1枚

⚠ 危険

転倒の恐れあり

- 強風時はマストを下げる。投光機が欠きやゆれるような強風時は使用を中止する。
- 傾斜地を避け、水平な場所を使用する。
- 駐車ブレーキをかけ、車輪止めをする。
- 存取ボタンはしっかりと鎖付ける。
- マストの先端には指定の器具以外のものをせない。

⚡ 感電の恐れあり

注意

- マスト上昇時、電線に注意。
- 雨中使用しない。
- 点検・整備は必要時以外電源回路を遮断する。
- ランプ交換は電源を遮断してから行なう。
- 濡れた手で端子やランプにさわらない。

🔥 火傷の恐れあり

点灯中、消灯直後の投光器具・ランプに触れない。

使用前に取扱説明書を熟読し、始業前点検実施後、安全に使用する。

👉 手挟み注意

⚠ 注意

- 再点灯はランプが冷えるまで待機する。
- 故障の恐れあり
- 充電機の短時停止は消灯してから行なう。
- 破損・短寿命の恐れあり
- ランプに強い衝撃を与えない。

A-4003155-00

⑥A-4001913-00 各マスト 1枚

⚠ 危険

落下・転倒の恐れあり

- 指定箇所以外で吊り下げない。
- ベルトを使用し、収納状態で本体が水平になる位置で行なう。
- クレーン以外での吊り下げ作業は行なわない。

⚠ 転倒の恐れあり

作業時は必ずアウトリガーを使用する。

(セット)
アウトリガーを回転させてセットする。
(収納)
矢印部を起し収納する。

A-4001913-00

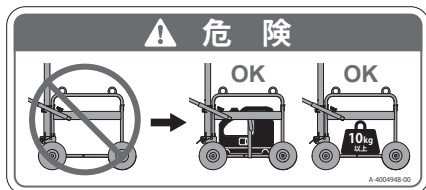
⑦A-4003154-00



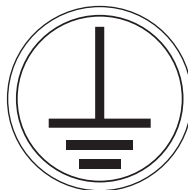
⑧A-4003175-00



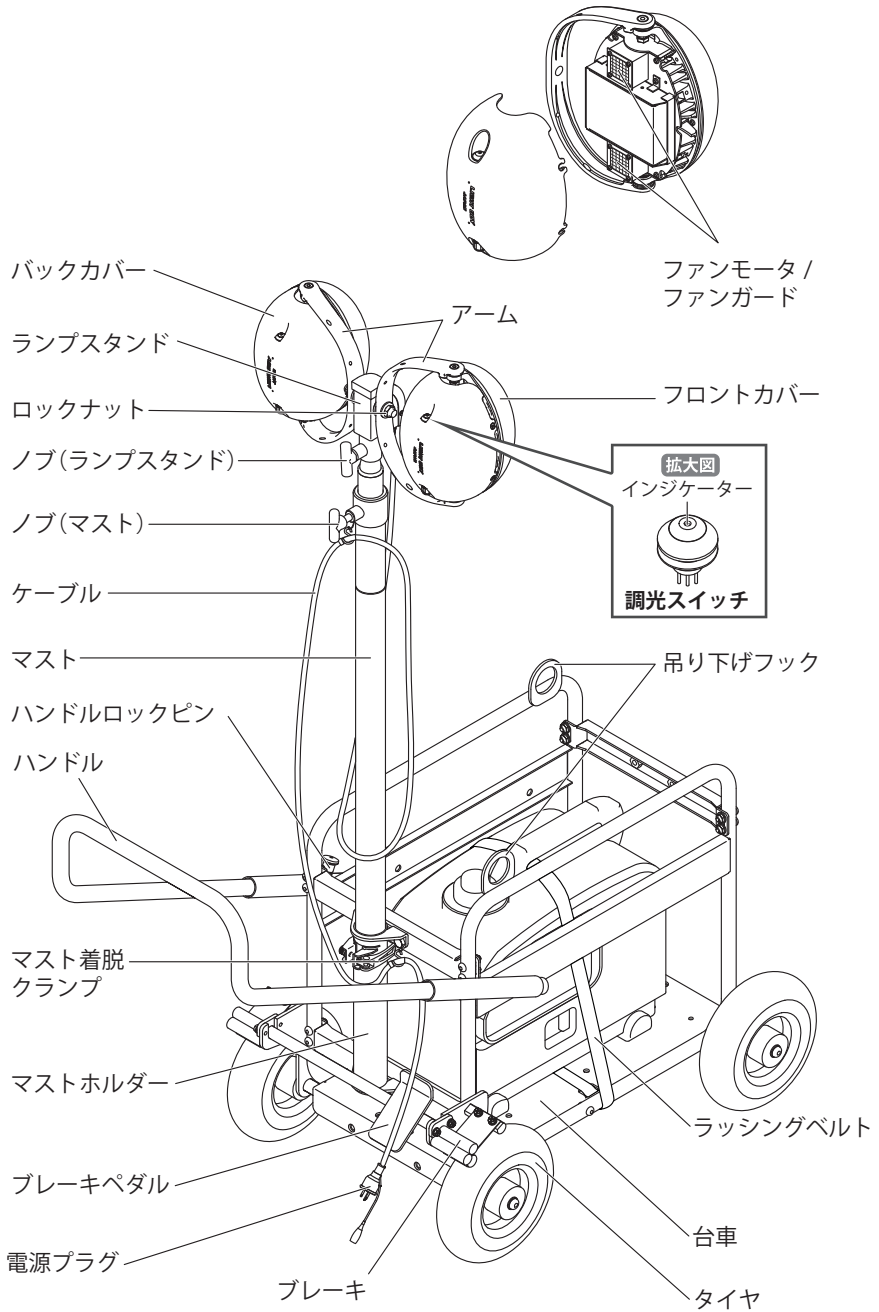
⑨A-4004948-00



⑩A-4004573-00



各部の名称



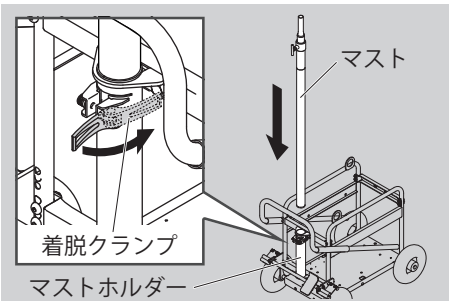
組立て方法

◆駐車ブレーキの操作方法は、別項「基本操作方法」を参照してください。

1. マストをマストホルダーに差し込み、着脱クランプでロックします。

危険

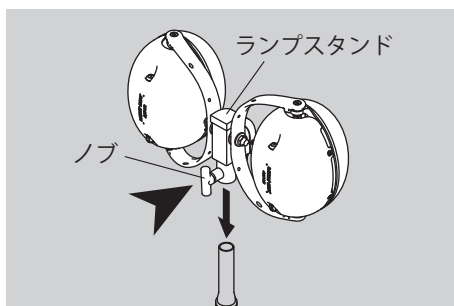
着脱クランプの締付けを必ずおこなってください。ゆるんでいますと機器脱落し、けがをしたり破損するおそれがあります。



2. マストにランプスタンドを垂直に差し込み、ノブを締め付けます。

危険

ノブは確実に締めてください。ゆるんでいますと頭部が抜け落ち、けがをしたり機器が破損するおそれがあります。

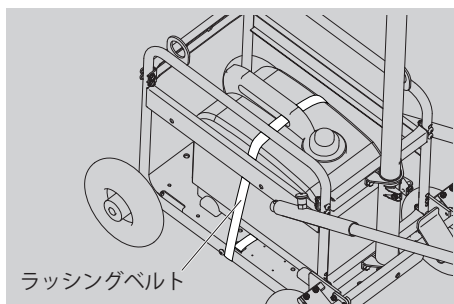


発電機搭載後

危険

発電機を搭載しない場合は10kg相当のおもり（水の入った10Lポリタンク等）を搭載し、ラッシングベルトで固定してご使用ください。投光機が転倒し、けが・破損のおそれがあります。

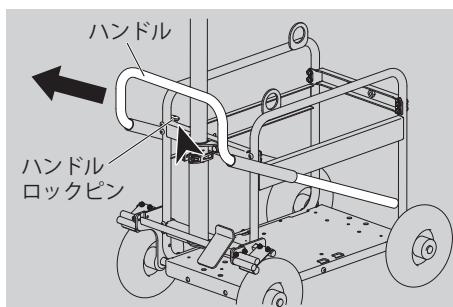
- 台車に付属しているラッシングベルトで発電機を固定してください。



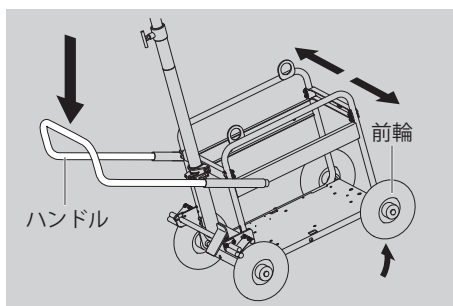
基本操作方法

■ ハンドル操作

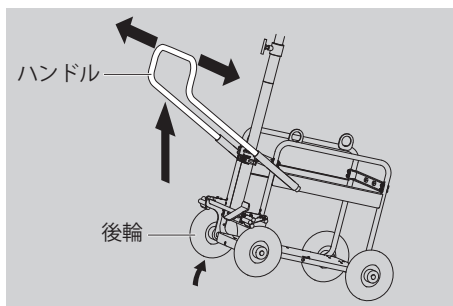
- ハンドル左側のハンドルロックピンを解除し、ハンドルを手前に引き出します。ハンドル先端の穴にハンドルロックピンが固定されるまで引き出してください。



- ハンドルを下に押し、前輪を浮かせ、左右に方向転換します。



- ハンドルを持ち上げて後輪を浮かせ、左右に方向転換します。



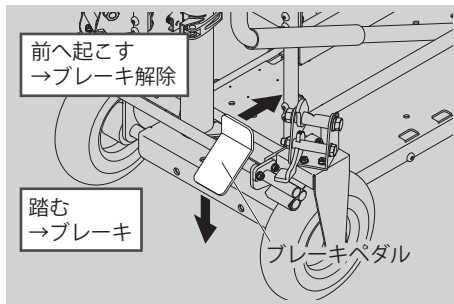
■ 駐車ブレーキ操作



危険

駐車時や使用時はブレーキでのロック以外に車輪止めも必ずおこなってください。

- ブレーキペダルを下げるとブレーキがかかり、上げると解除されます。



■ ランプ操作



危険



照射器具を操作時にケーブルを破損すると感電のおそれがあります。



警告



照射器具を操作時は、指を挟まれないように注意しておこなってください。



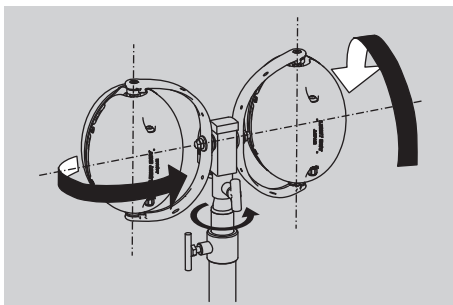
注意



点灯中の方向調整は高温に注意しておこなってください。

照射方向の調整

- セカンドマストをまわしてランプスタンドの方向を 360 度調整できます。
- 照射器具アームを持って回し、照射器具を傾けます。(回り止め有り)
- ランプを持って任意の角度に照射器具の向きを変えます。(回り止め有り)



■ マスト操作

危険



マスト上昇時は、電線に注意してください。接触すると感電するおそれがあります。

警告



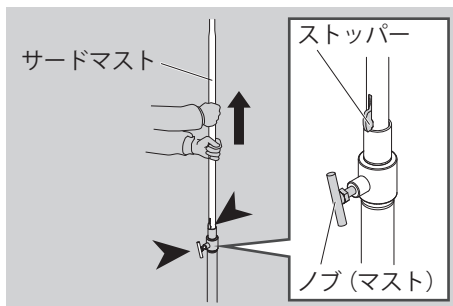
マスト昇降時は、マストに指等を挟まれないように注意しておこなってください。

注意

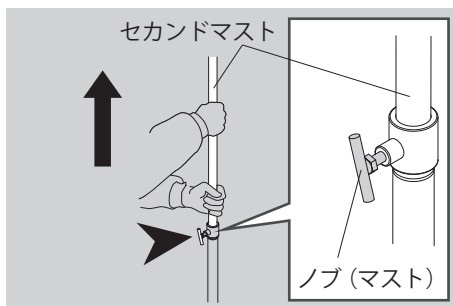
マスト上昇時は、頭上に何も無いことを確認してください。接触すると機器や接触物が破損するおそれがあります。

高さを変えるには

1. マストのノブを締め、サードマストをストッパーがかかるまで上方に引き出します。



2. ノブ (マスト) をゆるめ、セカンドマストを持ちながら上方へ引き上げ、任意の高さでノブ (マスト) を締めます。



点灯・調光・消灯



点灯中および消灯直後の灯具は高温ですので、やけどをするおそれがあります。十分に冷めてから作業してください。



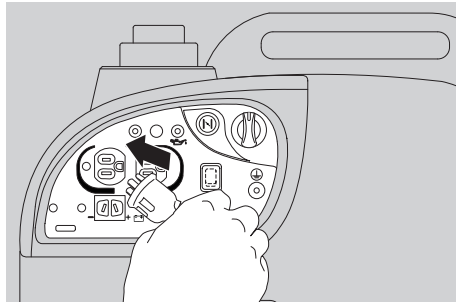
発電機の交流スイッチを(ON)にしたままで発電機を始動・停止すると発電機の故障の原因になりますので、必ず交流スイッチの(OFF)を確認したうえで発電機の始動・停止をおこなってください。発電機に交流スイッチがない場合は、プラグを抜いた状態で発電機の始動・停止をおこなってください。

点灯

発電機使用時

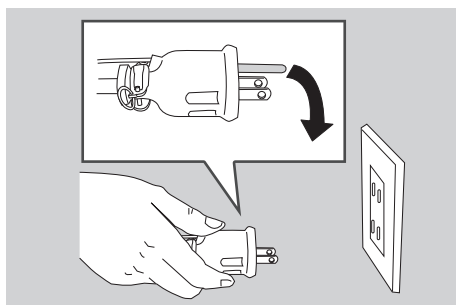
- ◆発電機のオイル、バッテリー液、燃料を確認します。
- ◆発電機に投光機以外の電気器具が接続されている場合は投光機分の電気容量が確保できるようにしてください。
- ◆発電機の交流スイッチが(OFF)になっていることを確認します。
- ◆約3分間、暖気運転をしてください。

1. 発電機を始動します。(始動要領は発電機の取扱説明書をご覧ください。)
2. 発電機が安定したら電源プラグをコンセントに差し込みます。
3. 発電機の交流スイッチを(ON)にします。



2P コンセント使用時

- プラグのアース端子をたたんで2Pプラグにし、コンセントに差し込みます。



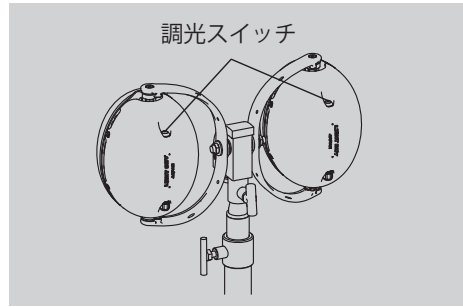
調光

- スイッチを押すごとに調光できます。電源投入時は 200W で点灯します。スイッチを押す毎に切り替わっていきます。

200W → 100W → 35W → OFF
もう一回押すと 200W に戻ります。

- スイッチにはインジケータが付いており、何ワットで点灯しているか確認できます。
※ 35W、OFF 時はファンが停止します。

	インジケータ	ファン
200W	点灯	作動
100W	1 回点滅	作動
35W	2 回点滅	停止
OFF	3 回点滅	停止
ERROR	常時点滅	—



消灯

1. 発電機の交流スイッチを (OFF) にします。
2. 発電機を停止します。

◆発電機の停止は必ず最後におこなってください。

収納方法



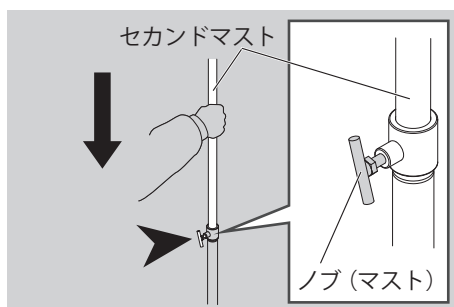
伸縮作業時、マストに指等を挟まれないように注意しておこなってください。



消灯直後のランプは高温ですので、やけどをするおそれがあります。十分に冷めてから作業してください。

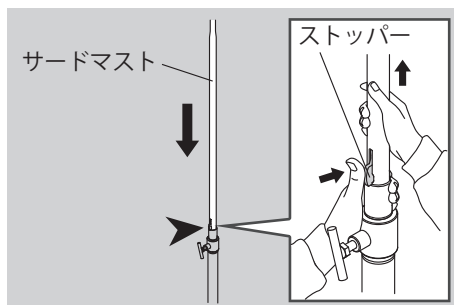
1. ノブをゆるめて手を添えながらマストを下げ、ノブを締めます。

◆マストはゆっくりと下がる構造になっています。



2. サードマストを片手で上方に持ち上げながらストッパーを押し、マストを下げます。

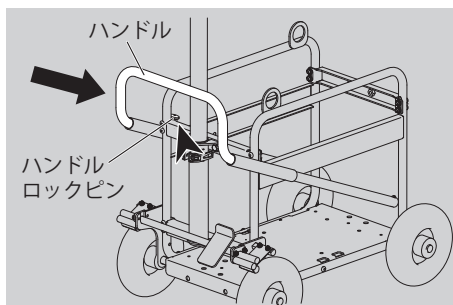
◆マストはゆっくりと下がる構造になっています。



以下は必要に応じておこなってください

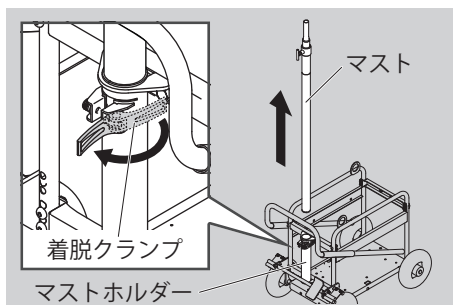
ハンドルの収納

- ハンドルの左側のハンドルロックピンを解除し、ハンドルを押し込みます。ハンドル持ち手側の穴にハンドルロックピンが固定されるまで押し込んでください。



マストの取外し

- 着脱クランプを解除し、マストをマストホルダーから引き抜きます。



点検・整備・保管



警告 電源プラグを差し込んだまま電気系統を点検・整備すると誤ってショートするおそれがあります。点検・整備前に必ず電源プラグを抜いておこなってください。



警告 点灯中および消灯直後のランプは高温ですので、やけどをするおそれがあります。十分に冷めてから作業してください。



注意 マストのメンテナンスにはグリスをご使用ください。浸透潤滑剤、パーツクリーナーはマストの動きが悪くなるおそれがあります。

点検・整備

表中図欄の記号と図中の記号を参照して点検・整備をおこなってください。

◎…始業前点検 ○…20 時間毎 ●…100 時間毎 △…500 時間毎

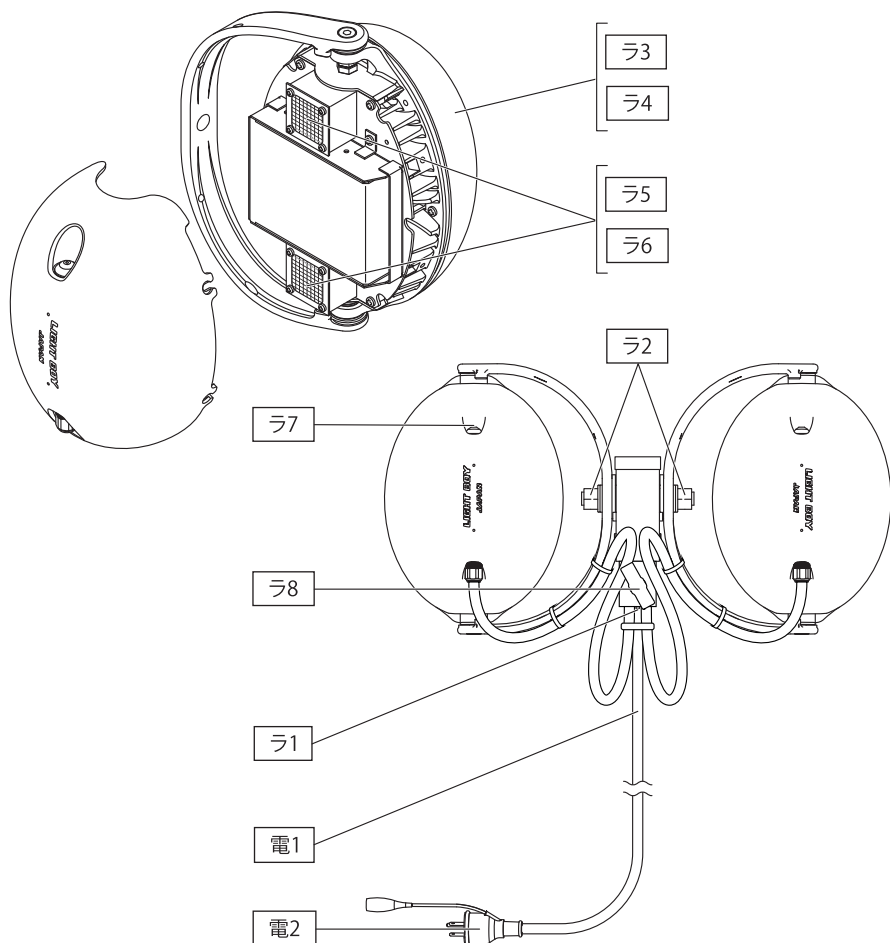
- ◆時間は目安です。始業前点検は各点検毎におこなってください。
- ◆発電機に関しては発電機取扱説明書をお読みください

保管

- 保管前には必ず汚れなどを落とし、金属部分に注油・グリスアップをおこなってください。
- ブレーキをかけ、雨ざらしや湿度の高いところを避けて保管してください。
- 保管はできるだけ室内で行ってください。
- やむを得ず屋外で保管する場合は、防水シートで覆い雨や雪にさらされないようにしてください。

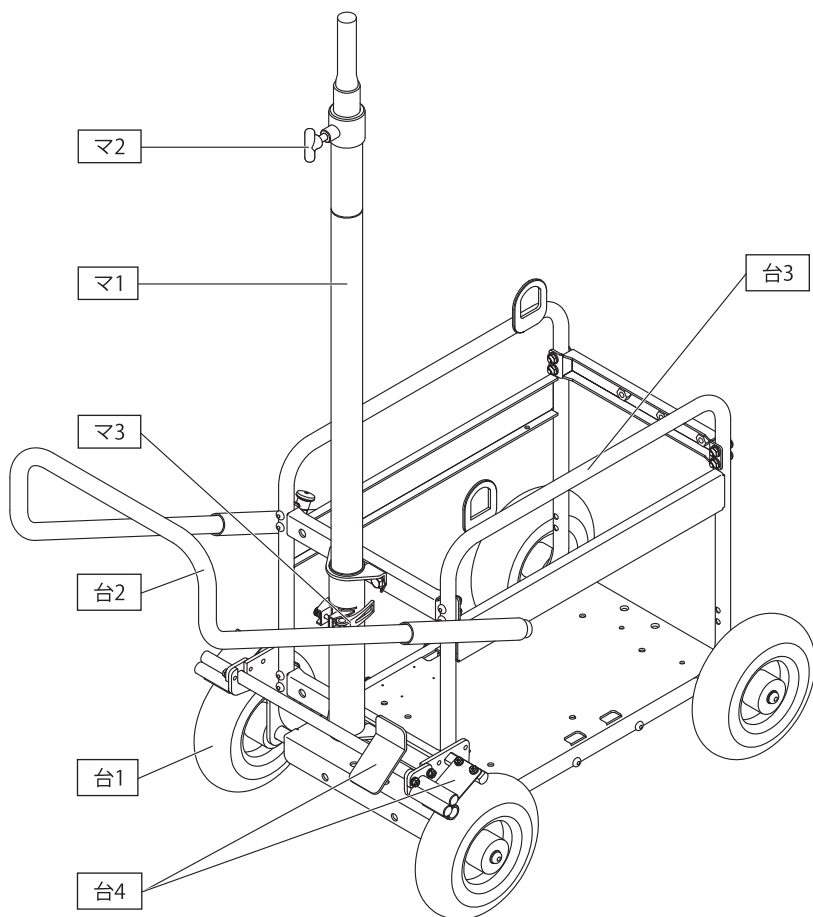
■ 灯部点検・整備

図	箇所	確認内容	対策		
ランプ (ラ)	1	ケーブルグランド	緩んでいないか	しっかりねじ込む	◎
	2	ロックナット	緩んでいないか	適度に締めつける	◎
	3	LED ランプ	きれたり、破損したりしていないか	要交換	◎
	4	フロントカバー	汚れていないか	要清掃	◎
	5	ファンモータ	正常に作動するか	要修理	●
	6	ファンガード	汚れたり、異物が詰まっていないか	要清掃	●
	7	調光スイッチ	正常に作動するか	要交換	◎
	8	ノブ	破損していないか	要交換	○
電装 (電)	1	ケーブル	線が剥き出しになっていないか	要交換	◎
	2	電源プラグ	破損したりしていないか	要交換	○

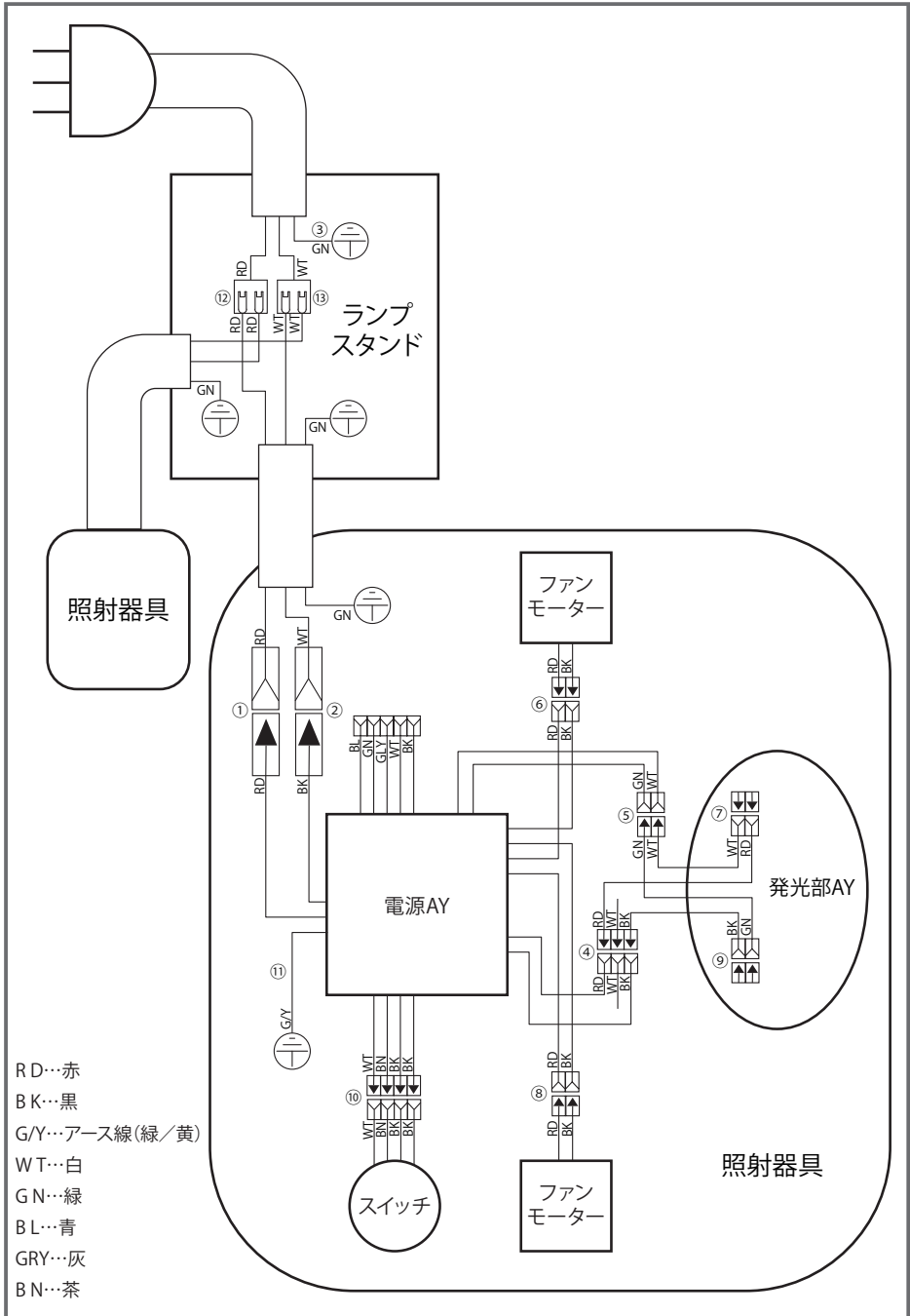


■ 台車部点検・整備

図	箇所	確認内容	対策	
マスト (マ)	1 マスト	曲がったり、破損したりしていないか	要交換	○
		正常に動くか	要清掃	◎
	2 ノブ	破損したりしていないか	要交換	◎
3	着脱クランプ	破損したりしていないか	要交換	◎
台車 (台)	1 タイヤ	パンクしていたり、ヒビが入っていないか	要交換	◎
		空気圧は 2.5kgf/cm ² か	要調整	◎
	2 ハンドル	曲がったり、破損したりしていないか	要交換	●
	3 フレーム	曲がったり、破損したりしていないか	要交換	●
4 ブレーキ	スムーズに動くか	グリス吹付	◎	
	効きはよいか・破損していないか	要修理	◎	



配線図



トラブルシューティング

1. 灯部

事前チェック

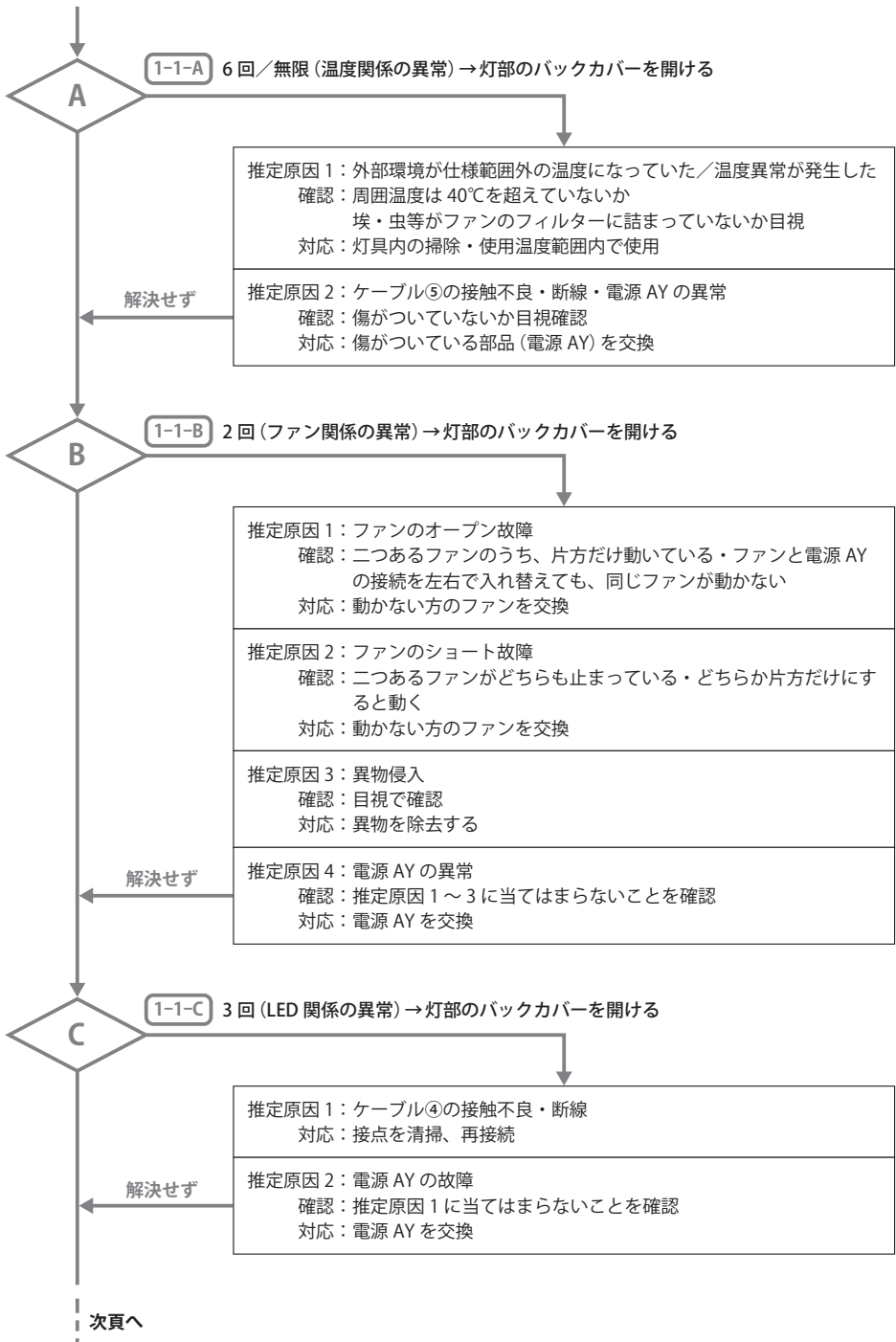
- 電源コンセントから仕様通りの電圧 (AC100V) が出ている。
- ケーブルが正常に接続されている。
- 灯具スイッチ中央のインジケータが素早く点滅 (エラー点滅) している場合、スイッチを一度押すと、点滅回数でエラーコードが表示されます。エラーコード表示中は、インジケータが消灯と点滅を繰り返します。点滅回数を記録してください。エラーコードが表示されず、無限に点滅している場合は、温度関係の異常が発生し続けていることを表します。

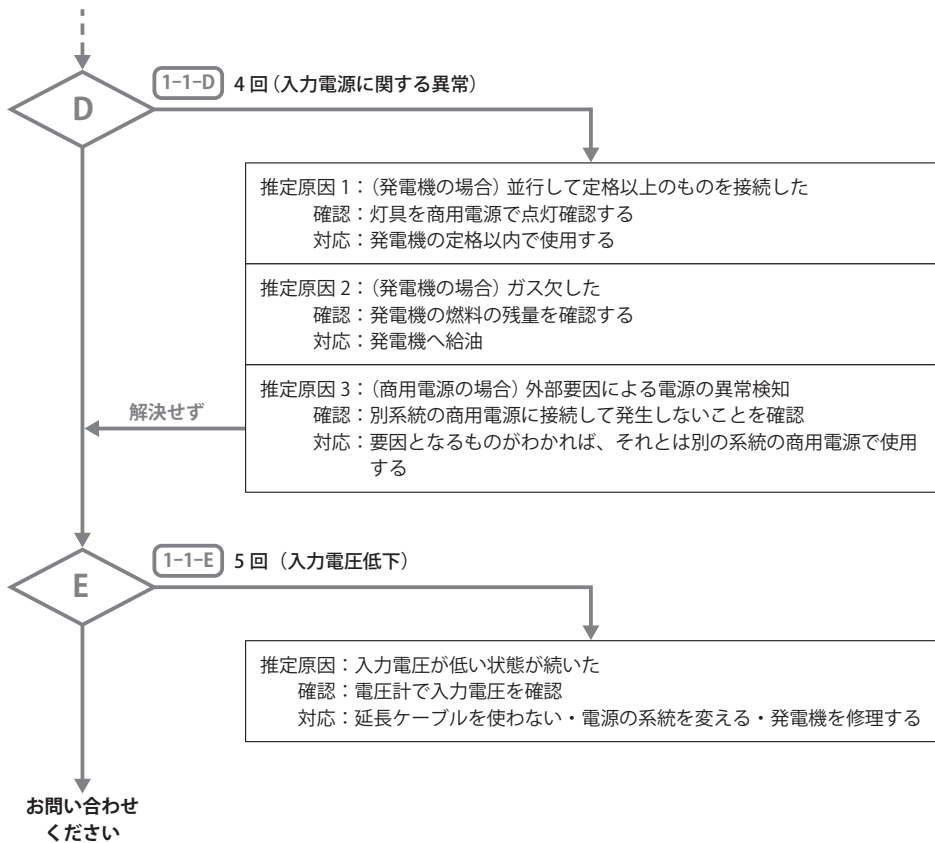
作業上の注意点

- バックカバーを開ける際は、感電に十分注意してください。
- ケーブルを固定する結束バンドを切断する際は、ケーブルに傷をつけないように注意してください。
- 配線の差し換えは、電源を切って1分以上経過したのちに行ってください。
- 電気の知識が十分にある方以外は、作業を行わないでください。

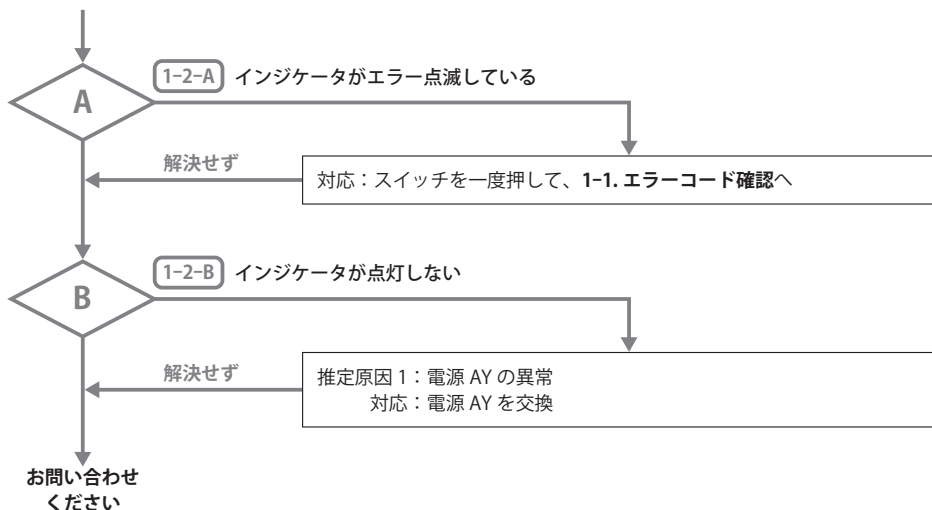
- 1-1. エラーコードを確認
- 1-2. 起動時直後から点灯しない
- 1-3. 照明が自動で調光する
- 1-4. 照明が自動で消灯する
- 1-5. 調光できない
- 1-6. LED が一部点灯しない

1-1. エラーコードを確認

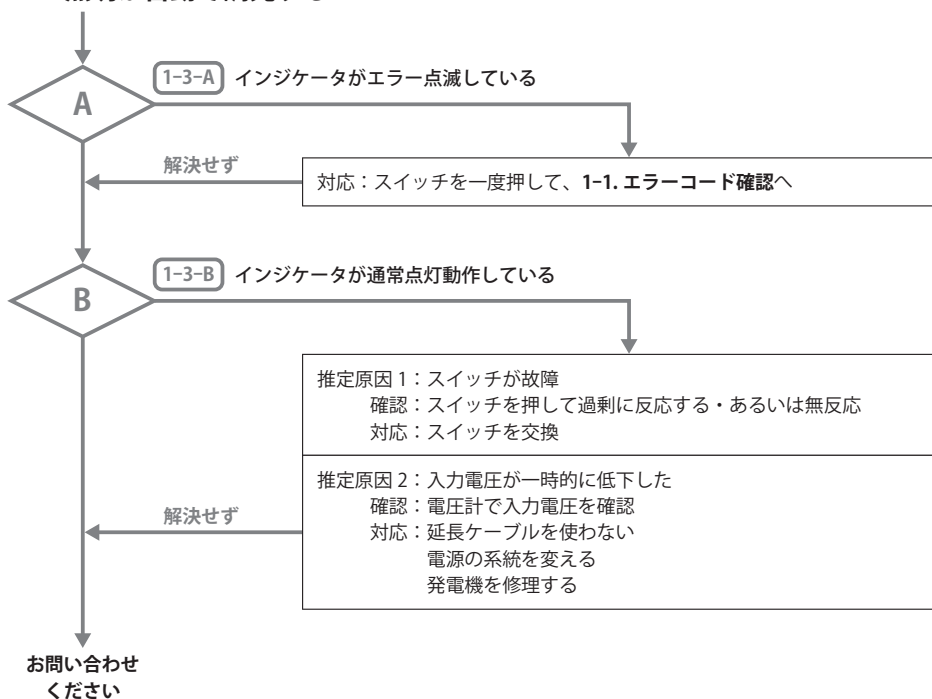




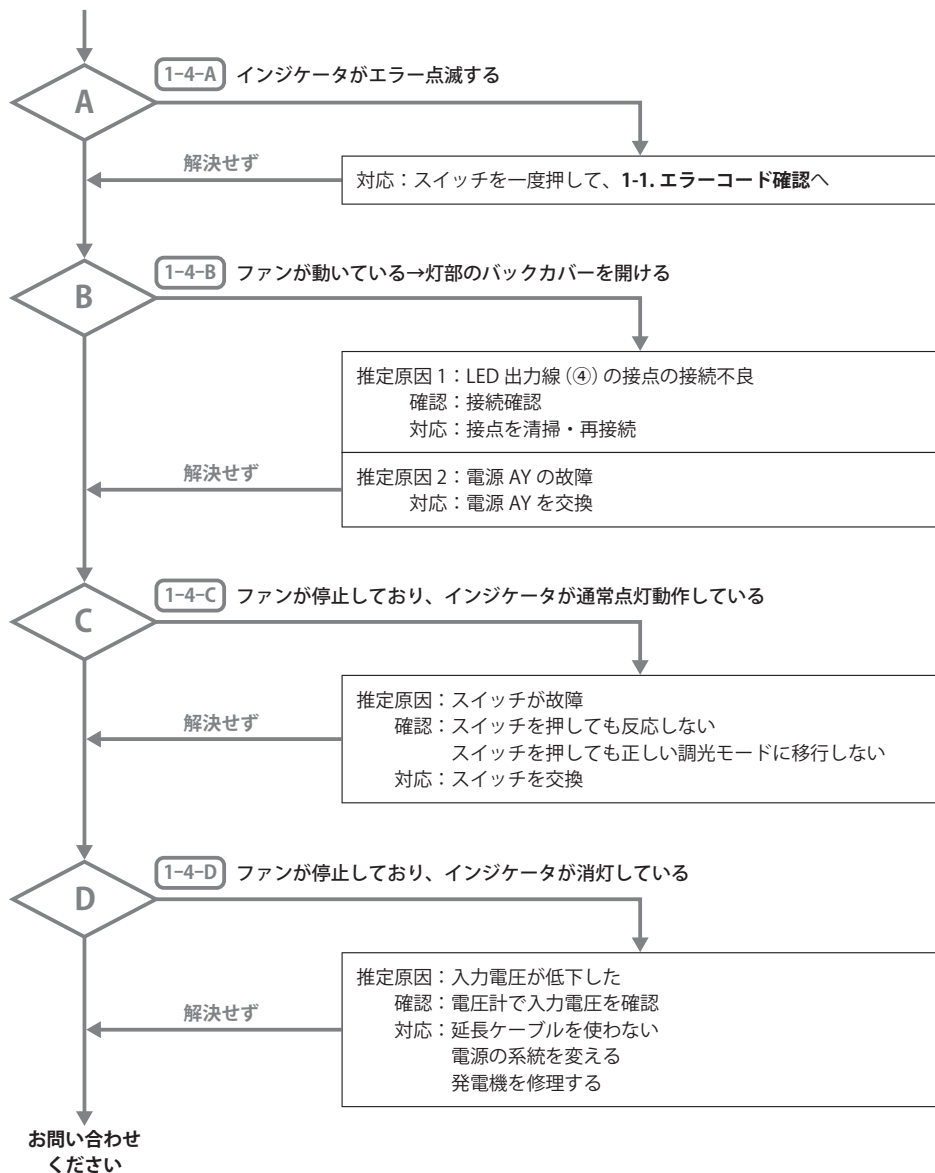
1-2. 起動直後から点灯しない



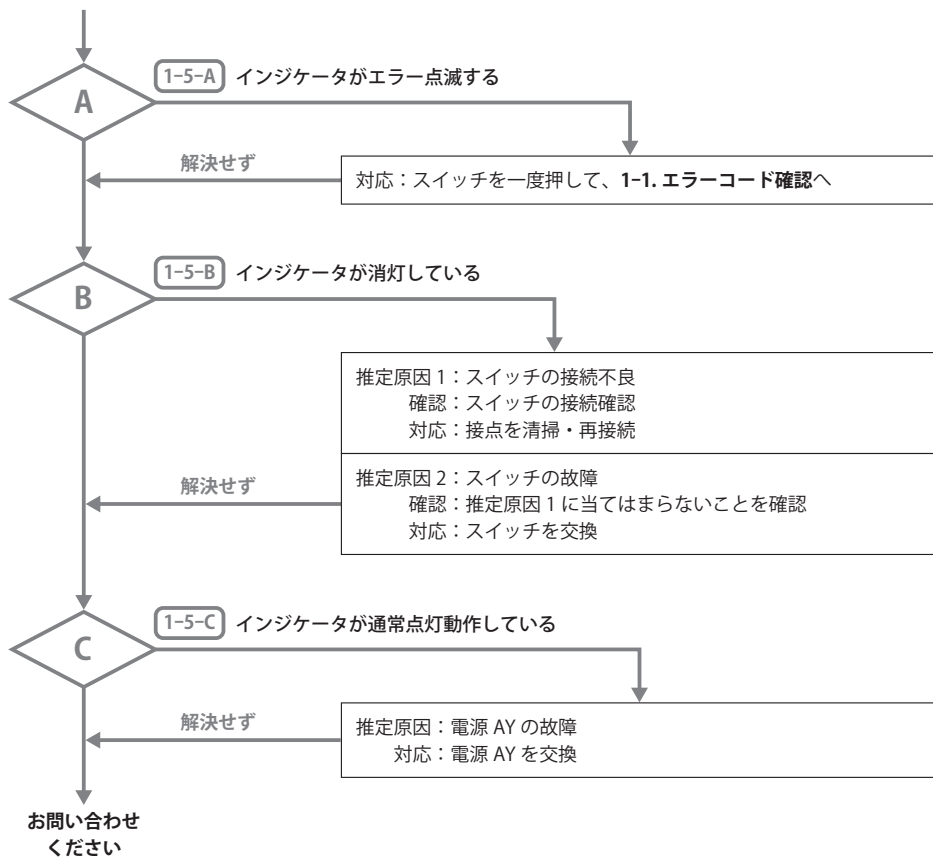
1-3. 照明が自動で調光する



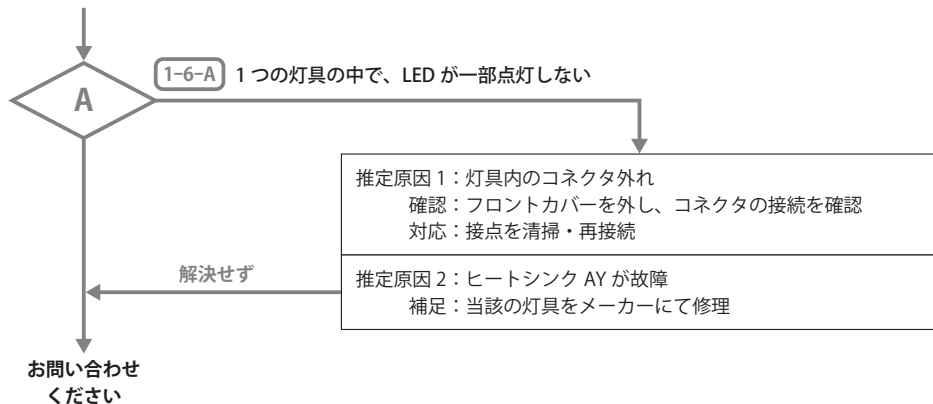
1-4. 照明が自動で消灯する



1-5. 調光できない



1-6. LED が一部点灯しない



主要諸元表

型式		LB202CC	LB202X2CC
灯具	電圧 (V)	AC100	
	周波数 (Hz)	50/60	
	消費電力 (W)	400	800
	種類	LED	
	調光 (W)	200/100/35	
	灯数	2	4
	全光束 (lm) [*]	56000/28000/9800	112000/56000/19600
マスト	マスト形式	伸縮式 3 段 (エアブレーキ付)	
	マスト操作	手動伸縮	
台車	タイヤ	外径 220mm 空気入りタイヤ (2.50-4)	
	タイヤ空気圧 (kPa)	245 (2.5 kgf/cm ²)	
	ブレーキ	足踏み式駐車ブレーキ	
使用可能温度範囲 (°C)		-10 ~ 40	
寸法 (mm)	作業時 (L×W×H)	1195×550×1635 ~ 3260	1240×585×1635 ~ 3260
	収納時 (L×W×H)	825×550×1635	825×585×1635
質量 (kg)	灯部	7.2	7.2 × 2
	マスト	2.7	2.7 × 2
	台車	29.6	31.5
総質量 (kg)		39.5	51.3
必要発電容量 (kVA 以上)		0.5	1.0

※：表記数値は最大値。LED 素子には製造工程でのばらつきがあり、製品ごとに明るさ、光色が異なる場合があります。

- 仕様は改良などにより予告なしに変更することがあります。
- 文中の図と現品が異なる場合があります。

MEMO

わからないことや、故障したら

- 本機についてわからないことや、故障が生じたときはつぎのことをメモし、お近くの販売会社、特販店にお問い合わせください。

ご使用機の型式名と製造番号（ネームプレートに記載）

LB202CC / LB202X2CC- ○○○○○○

ご使用環境

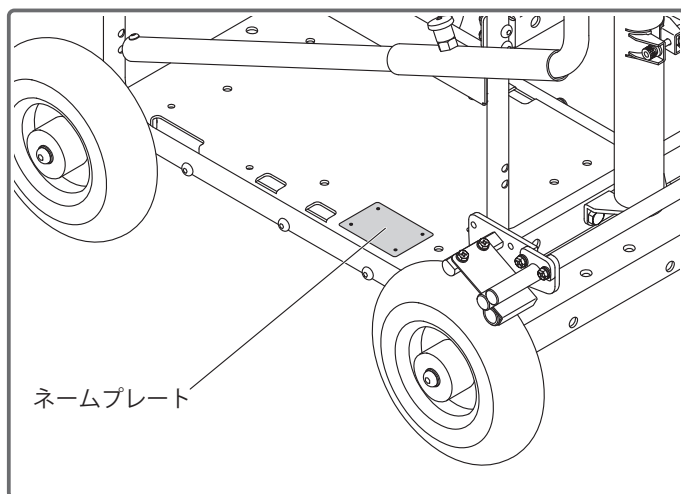
どんな環境で

どれくらい使用されましたか

約○○時間（発電機のアワーメーターなどでご確認ください）

故障したときの状況をくわしくご説明ください

くわしい状況を



安全確認説明事項

型式名	製造番号 No.
-----	-------------

下記の販売説明者から、この製品の安全な取扱いと操作方法について説明を受けました。

説明内容および確認事項	確認 <input checked="" type="checkbox"/>	説明内容および確認事項	確認 <input checked="" type="checkbox"/>
取扱説明書の受領	<input type="checkbox"/>	各部の操作方法	<input type="checkbox"/>
安全上の注意の説明	<input type="checkbox"/>	点検・整備方法	<input type="checkbox"/>
警告表示の内容と貼付位置説明	<input type="checkbox"/>	故障したときの処置・連絡	<input type="checkbox"/>
使用準備方法	<input type="checkbox"/>	保証書・保証事項について	<input type="checkbox"/>

説 明 日	令和 年 月 日
納 入 日	令和 年 月 日

お 客 様	住 所	〒□□□-□□□□
	会 社 名	(印)
	名 前	☎ () (印)
販 売 店	住 所	〒□□□-□□□□
	店 名	(印)
	納入説明者氏名	☎ () (印)



株式会社ライトボーイ

〒183-0025

東京都府中市矢崎町1-39-1

電話(042)319-2138 FAX(042)319-2198

<https://www.light-boy.com>

